

御殿場市における校舎改築事例について

～近年改築した小中学校校舎の設計コンセプト及び特徴について～

1. 高根中学校校舎改築事業 [平成22年8月完成]

～基本コンセプト～

- ・高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備により、「確かな学力保障」を目指す
- ・「豊かな人間形成」や「健やかな心身支援」を育む安全でゆとりと潤いのある施設整備
- ・地域・家庭との交流・連携に配慮した、開かれた学校の構築
- ・富士山ふもとの特色ある立地条件を踏まえた魅力ある施設景観と眺望性の確保
- ・省エネ省資源など環境保全に配慮した施設づくり

[外観計画]

- (1) 高根中学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であり、敷地南側には清流（竜良川）が流れ落ち着きのある環境であることから、周辺の自然に馴染みながら、周辺環境に対峙できる力強い施設をイメージして計画した。

[平面計画]

- (2) 多様な授業や学習活動を展開させるため、学年単位で一つの空間を構成しながらも、小規模単位でも独立性を確保できるように普通教室と多目的スペース（ワークスペース）の配置に配慮した。
- (3) 豊かな人間形成や健やかな心身支援に配慮し、クラスや学年を超えた生徒達の交流が可能なランチルームを設置した。

[内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。

[環境配慮計画]

- (5) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (6) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備10kwを設置した。

[その他]

- (7) 電子黒板（ディスプレイ型、移動式）を各教室に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (8) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



【校舎正面より】

周辺の自然に馴染む意匠を意識し、校舎正面からシンメトリーな外観とした。背後の富士山と同様に力強い印象を与えながらも、外壁は落ち着きのある色合いで周辺環境との融合に配慮した。

【ランチルーム】

全校生徒が一同に会して給食を吃べることができるランチルーム。生徒たちがクラスや学年を超えて交流することが必然的になる空間を意識した。ランチルームとしてばかりでなく、多種多様な利用が可能なスペースでもある。



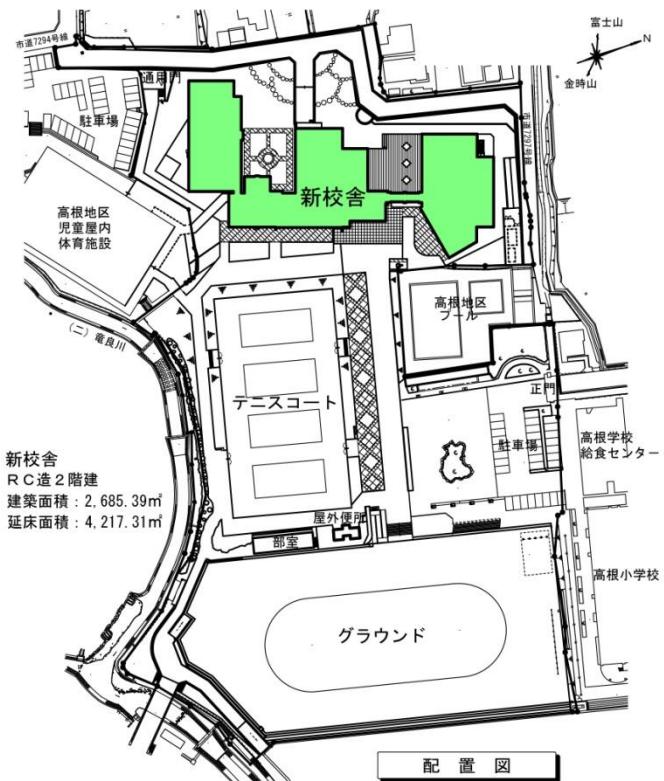
【ワークスペース】

普通教室に隣接したスペースで、少人数指導やワークスペースとしての利用を想定しているが、生徒主体の自由な発想で利用できるような空間を意識した。空間を雁行させることで独立性を確保することも可能である。

【普通教室】

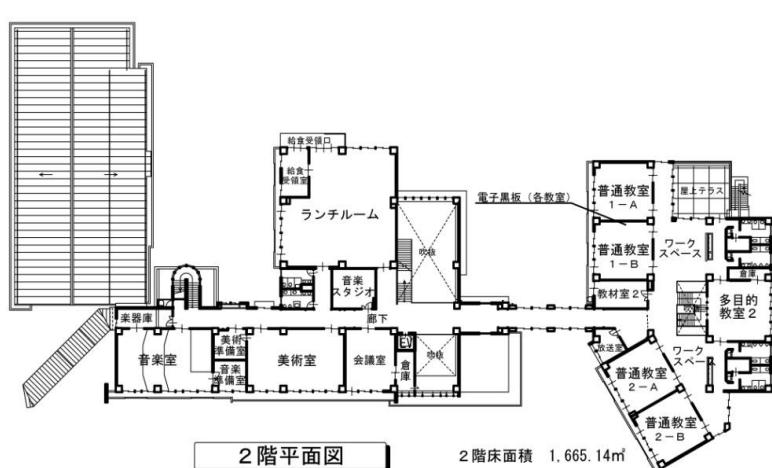
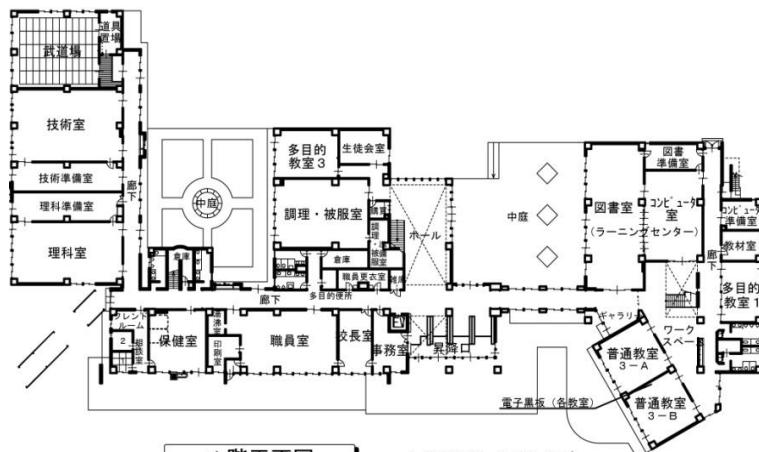
校舎全体の内装を木質化することで、ぬくもりのある空間となっており、落ち着きのある学習空間づくりを意識した。普通教室には移動式の電子黒板が配置され、普通教室で総合的な学習が可能となっている。





改築事業費

設計監理費	48,000 千円
改築工事費	1,011,400 千円
計	1,059,400 千円
(面積当たり 251,200 円/m ²)	



～基本コンセプト～

- ・高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備による
「しっかりと学ぶ」環境づくり
- ・「こころ豊か」で「健康な子」を育てる安全でゆとりと潤いのある施設整備
- ・地域との交流・連携に配慮した、開かれた学校の構築
- ・富士山ふもとの特色ある立地条件を踏まえた魅力ある施設景観と眺望性の確保
- ・省エネ省資源など環境保全に配慮した施設づくり

[外観計画]

- (1) 玉穂小学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であることから、低層で周辺の環境に溶け込むような校舎とすることをコンセプトに、低層（2階建て）で勾配のある屋根とし、外壁もアースカラーを基調とした配色とした。

[平面計画]

- (2) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (3) 多目的スペースを普通教室に隣接させ、普通教室と多目的スペースの一体利用と、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

[内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。
- (5) 校舎内の壁は、児童の作品や自由な掲示などにより、学校の特色やカラーを表現することをイメージして、白木調のシナ合板貼りとした。
- (6) 多目的スペースの天井に木製格子を設置し、意匠的な配慮のみならず、児童の作品等を掲示できるように配慮した。

[環境配慮計画]

- (7) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (8) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。
- (9) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備3kwを設置した。

[その他]

- (10) 電子黒板（ディスプレイ型）を各教室の上下式黒板と一体設置（左右スライド可能）し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (11) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



【校舎正面より】

正門から入ると正面に学校の玄関があり、校舎の背後には富士山が控えている。周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。校舎の内部からも、雄大な富士山を望むことができる。

【1階ホールのメイン階段】

児童昇降口を抜けると、ホールに吹き抜けでゆとりのあるメイン階段がある。ホールや廊下の壁はシナ合板を用いて、児童の絵画や掲示により色を付けてもらうことを意識した仕上げとしている。



【普通教室】

内装は木質化により、ぬくもりと木の素材が感じられる仕上げを意識した。黒板に備え付けられた電子黒板は、授業で円滑に利用ができるように配慮し、校内放送やデジタル教材等も映し出す事が容易にできる。

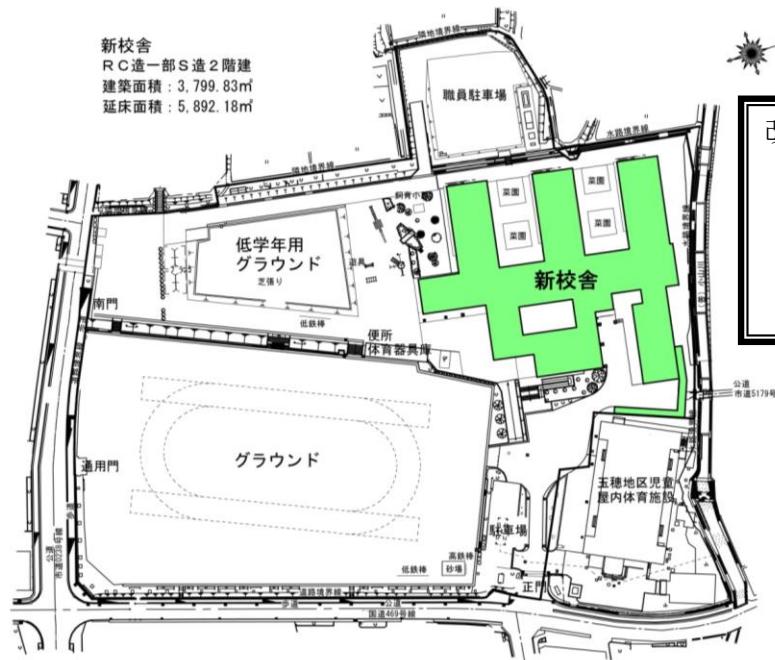
【多目的スペース】

普通教室3室に隣接し、間仕切りの戸を解放し、一体利用することも可能。学年単位で空間を形成しているため、様々な利用形態に対応ができる。

天井には木製格子が取付けてあり、児童の絵画等の作品を吊るして展示することもできる。



新校舎
R C 造一部 S 造 2 階建
建築面積 : 3,799.83m²
延床面積 : 5,892.18m²



改築事業費

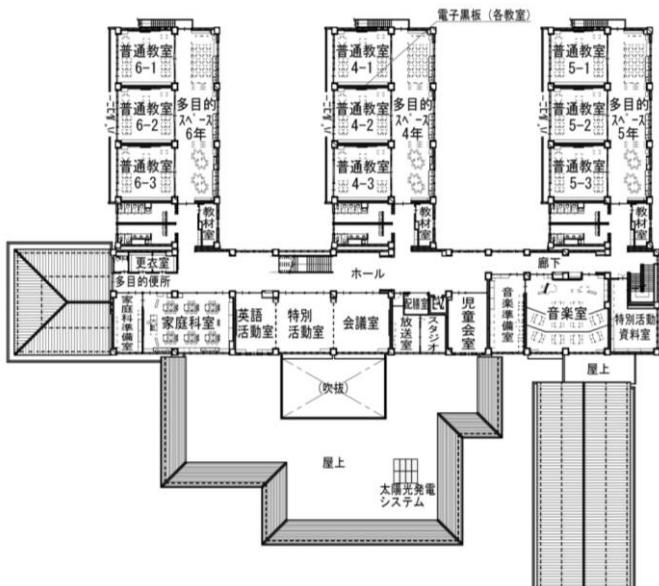
設計監理費	71,800 千円
改築工事費	1,316,600 千円
計	1,388,400 千円
(面積当たり 235,600 円/m ²)	

配置図



1階平面図

1階床面積 3,515.23m²



2階平面図

2階床面積 2,346.13m²

～基本コンセプト～

- ・多様化する教育環境に、高機能かつ多機能で変化に対応できる弾力的施設環境の整備による、『意欲的に学べる』環境づくり
- ・積極的に人と関わり、助け合いながら、意欲的に学び合える空間整備
- ・児童や教師が安全かつ安心して過ごせる施設整備
- ・地球環境にやさしく、自然の大切さを学べる学校づくり
- ・伝統や歴史、思い出を継承する学校づくり

[外観計画]

(1) 原里小学校の立地場所が郊外地の住居地域であることから、地域のシンボルとなるような校舎とすることや伝統継承をコンセプトに、旧校舎のシンボルであった大時計を配し、伝統の中にも新しさを兼ね備えた外観に配慮した。

[平面計画]

- (2) 回廊式に計画することで、児童等の動線を単純化させ、広い校舎の中でも見通しの良い校舎になるように配慮した。
- (3) 回廊式校舎の内側に中庭を配し、児童が気軽に運動や遊び、学習活動ができるように配慮した。
- (4) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (5) 多目的スペースを普通教室に隣接させ、普通教室と多目的スペースの一体利用と、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

[内装計画]

- (6) 内装は児童の健全な生活環境を意識し、明るさと清潔感に配慮した。窓の額縁やベンチなどに木材を利用することで、より木材が映えるように計画した。
- (7) エリア毎（普通教室、特別教室、管理諸室）のカラーをサインや階段手すり等に利用して、校舎内の位置の明瞭化や、認識性を高めるように配慮した。

[環境配慮計画]

- (8) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (9) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。
- (10) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備1kwを設置した。

[その他]

- (11) 電子黒板（プロジェクター型）を各教室の上下式ホワイトボード上部に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (12) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



【校舎正面より】

グラウンドに面した校舎の一部を2階にすることで、建物による圧迫感を低減し、背後の富士山の景観に配慮した。また、大きな校舎であることから、窓等に曲面を用いることで、無機質な大きな建物に見えないように配慮している。

【中庭】

校舎を回廊式に計画し、中庭をセンター テラスとして、様々な活動に利用できる様に配慮した。仕上げはゴムチップ舗装であり、弾力性に富み、縄跳びやかけっこ、一輪車など多機能に利用できる。広さはバスケットコートが2面配置できる大きさとなっている。



【児童昇降口】

校舎内装は清潔感のある白を基調とした仕上げとし、窓枠等に木材を利用するこ とで、要所に利用した木材が映える空間 になっている。回廊式の校舎の為、エリ ア毎や階段毎のカラーをサイン等に利用 して、位置が容易に分かるように配慮し た。

【普通教室】

廊下側の壁は可動間仕切りにしており、廊下との一体利用や隣接の多目的ホー ルとの連携利用に配慮している。

ホワイトボード上部に備え付けられた電子黒板（投写式）は、授業で円滑に 利用できるように配慮し、校内放送や デジタル教材等も映し出す事が、容易 にできる。





配置図

新校舎
RC造3階建
建築面積：3,465.49m²
延床面積：8,016.05m²

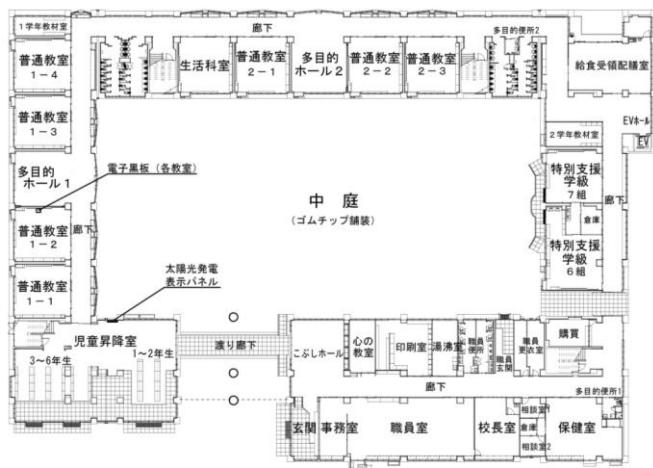
改築事業費

設計監理費 110,100 千円

改築工事費 1,293,400 千円

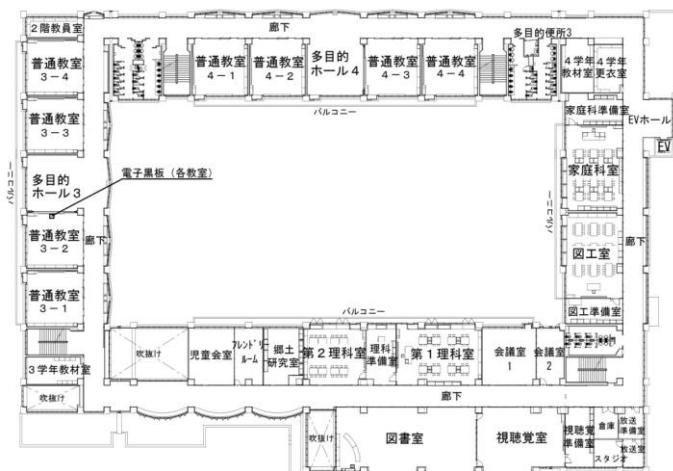
計 1,403,500 千円

(面積当たり 175,100 円/m²)



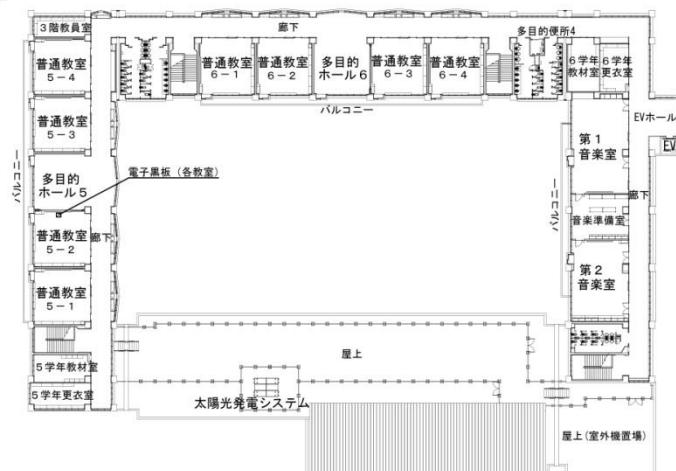
1階平面図

1階床面積 3,007.87m²



2階平面図

2階床面積 3,047.08m²



3階平面図

3階床面積 1,961.10m²

～基本コンセプト～

- ・『分かる授業』を支援する高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- ・学習及び生活の場として、ゆったり温もりを感じる安全・安心な施設整備
- ・地域の人達との交流を大切にし、生涯学習の場・防災拠点としての活用に配慮した施設
- ・印野地区の特性を生かし富士山に映える施設景観と眺望性の確保
- ・地球温暖化等の環境への負荷低減に配慮した施設整備

[外観計画]

(1) 印野小学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であることから、低層で周辺の環境に溶け込むような校舎とすることをコンセプトに、低層（2階建て）で勾配のある屋根とし、外壁もアースカラーを基調とした配色とした。

[平面計画]

(2) 社会全体の急速なデジタル化が進む一方で、児童の孤立や活字離れ等が懸念されることから、図書室と多目的スペースを中心とした平面計画とし、本に慣れ親しむこと、交流を図ることが自然と身に付くように配慮した。

(3) 普通教室の廊下側の間仕切り壁を可動式とし、廊下部分と一体利用可能な空間とし、隣接の多目的教室を含め、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

[内装計画]

(4) 地域の協力により、地場産の木材を使った内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。

[環境配慮計画]

(5) 御殿場市の中でも標高の高い位置に学校があるため、断熱等に配慮しペアガラスを採用了した。

(6) 東富士演習場に近いため、演習の砲撃音による障害が大きいことから、気密性の高いサッシの採用、空調設備の採用など、防音に配慮した。

(7) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。

(8) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。

(9) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備 17kw を設置した。

[その他]

(10) 電子黒板（ディスプレイ型）を各教室の黒板（左右引き分け式ホワイトボード）の背面に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。

(11) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



【校舎正面より】

正門から校舎を望むと、背後に富士山が望め、周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。多目的ホールからも、雄大な富士山を望むことができ、学校生活の中で常に富士山を身近に感じができる。

【図書室】

校舎の中心に配置し、日常的に本に慣れ親しむことを意図した。中央にある階段でコンピュータ教室と一体利用でき、調べ学習等に対応可能であり、メディアセンター的な利用も可能な空間としている。多目的ホールとの連携利用もできる。



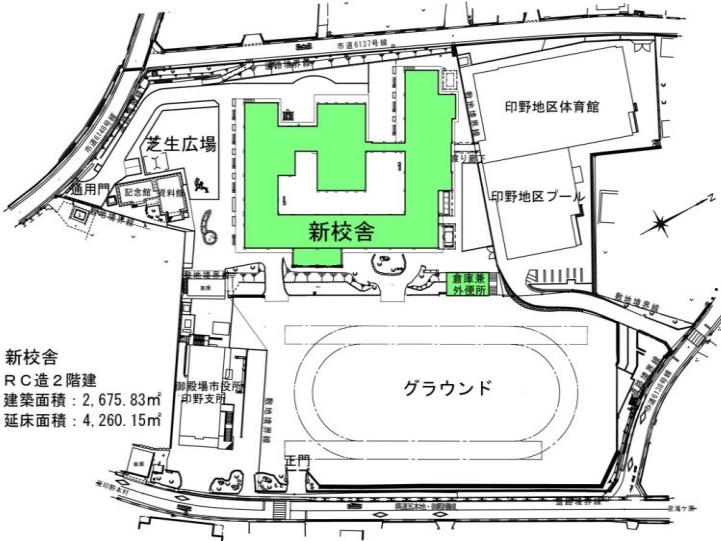
【多目的ホール】

多種多様な利用が可能なスペースで、児童の主体的な活動や、創造性を発揮できる空間を意識して計画した。図書室とともに学校の中核となる空間としており、地域住民との交流活動にも配慮している。（外部からの出入りに対する配慮や床暖房設備の導入など）

【普通教室】

腰壁に地場産の木材（杉板）を貼り、ぬくもりと木の素材が感じられる内装とした。ホワイトボードの背面には、電子黒板を備え付け、授業で円滑に活用できるように配慮し、校内放送やデジタル教材等の映し出す事が容易にできる。





新校舎

R C 造 2階建

建築面積 : 2,675.83m²

延床面積 : 4,260.15m²

配置図

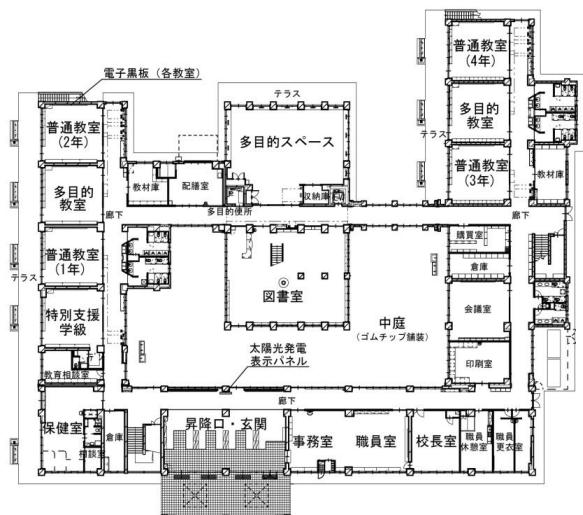
改築事業費

設計監理費 84,700 千円

改築工事費 1,270,800 千円

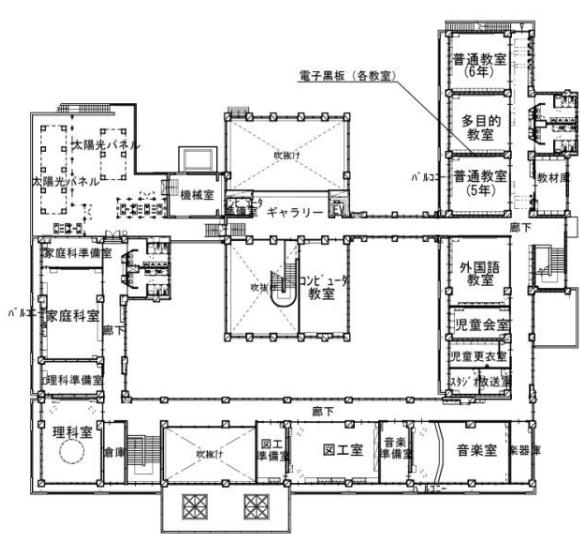
計 1,355,500 千円

(面積当たり 318,200 円/m²)



1階平面図

1階床面積 2,439.51m²



2階平面図

2階床面積 1,820.64m²

～基本コンセプト～

- ・『わかる！できる授業』を支援する高機能かつ多機能で変化に対応し得る
弾力的な施設環境の整備
- ・学習及び生活の場として、ゆったり温もりを感じる安全・安心な施設整備
- ・地域の人達との交流を大切にし、生涯学習の場としての活動に配慮した施設
- ・『樺山の森・樺山の池』の保全整備と、敷地内樹木の適切な整備を行い、
自然の中の緑豊かな学校環境
- ・地球温暖化等の環境への負荷低減に配慮した施設整備

[外観計画]

- (1) 西中学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であり、敷地内は歴史のある自然があることから、自然と歴史の継承をコンセプトに、屋根の一部を曲線とし、高低差のある周辺環境に馴染むような校舎をイメージして計画した。

[平面計画]

- (2) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (3) 多種多様な授業を展開させるため、多目的教室と談話コーナーの一体利用ができるように配置し、教師と生徒の自由な発想により利用できるよう計画した。

[内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材の質感を感じられるように配慮した。

[環境配慮計画]

- (5) LEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (6) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電と衛生面に配慮した。

[その他]

- (7) 冷房設備対応臨時交付金事業の活用により、エアコンを各教室に設置し、生徒をはじめとする施設利用者の健康面等に配慮した。
- (8) ICT教育に対応した情報配信システムを各教室に設置し、大型提示装置（65インチモニター）を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (9) 地域の協力により、樺山の森に植樹されていた杉を樺山館（多目的ホール）の内装の一部に利用するとともに、地域の歴史や文化の発信の場としての有効性を高めるため、常設展示コーナーを兼ね備えた。

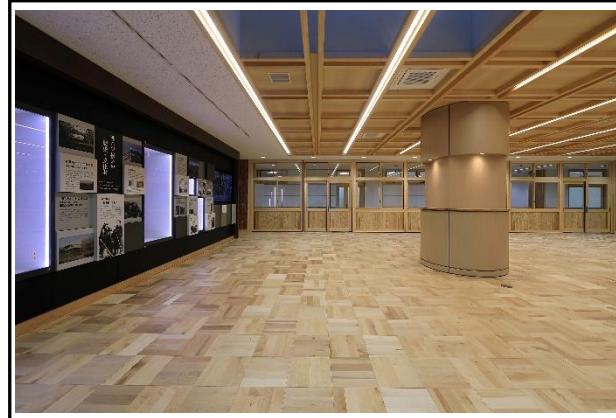


【校舎南側より】

グラウンドから校舎を望むと、背後に富士山が望め、周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。屋根の一部を曲線にし、色合いをアースカラーにすることで自然の多い周辺環境に配慮した。

【多目的ホール 樺山館】

明治時代の偉人「樺山伯爵」の別荘跡地に建設されたことに由来するもので、地域の歴史や文化の発信・交流の場として整備した。屋外からの単独利用に配慮し、地域利用玄関や可動間仕切りを設置することにより、独立性を確保することも可能である。



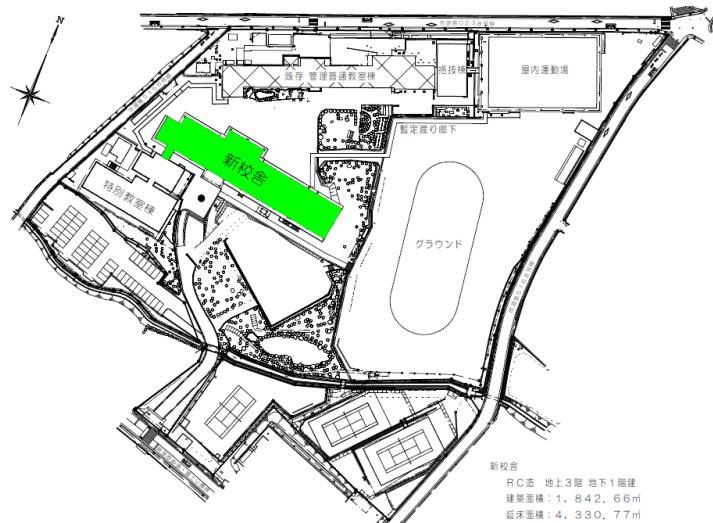
【談話コーナー】

多種多様な利用が可能なスペースで、生徒の主体的な活動や、創造性を発揮できる空間を意識して計画した。学年単位で設置しており、隣接する多目的教室とは、可動間仕切りを移動して一体空間としても利用できる。

【普通教室】

腰壁に県産材（杉板）を貼り、ぬくもりと木の素材が感じられる内装とした。ホワイトボードの横には、大型モニターを備え付け、授業で円滑に活用できるように配慮し、校内放送やデジタル教材等の使用が容易にでき、ICT教育に対応できる。





改築事業費

設計監理費	138,400 千円
改築工事費	1,284,600 千円
計	1,423,000 千円
(面積当たり)	328,600 円/m ²